

ぷらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第104号

古牧だより通算198号

総会特集号

新会長に金澤正義氏

4月22日(日)古牧公民館において総会が開催され、会長宮島俊文氏の任期満了に伴い、副会長の金澤正義氏が新会長に選任されました。

また、30年度の事業活動方針、事業計画とそれに伴う事業収支予算並びに部会長等の議案が全て承認されました。

就任あいさつ

新会長 金澤 正義



風薫る5月となりました。古牧地区の皆様におかれましてはご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素より古牧地区住民自治協議会の事業推進にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先の平成30年度の定期総会におきまして選任いただき会長の重責に身が引き締まる思いです。皆様のお力添えをいただき1年間頑張りたいと思います。

古牧地区住民自治協議会は、地域のみなさんが長年の活動に取り組んできた結果、事業の基本方針や運営方針は確立されておりますので、今後は諸先輩の足跡を継承し各種事業に取り組んでまいりたいと思います。

最近の傾向として個々、人の価値観やライフスタイルの多様化もありますが、古牧地区として「誰もが住みよい元気なまちづくりを目指そう」を目標にして小さなお子様からお年寄りまで住みよい環境にしたいものです。

古牧の高齢化率は市内最低ではありますが、お互いが支えあい、助け合いのできる精神で心豊かなコミュニティづくりで安心・安全なまちづくりにご協力をいただきたいと思います。

今後も引き続き、水害対策・交通事故防止・介護予防・子育て支援等の課題などについて、市行政、関係機関とも連携を密にして課題解決に向けまして取り組みを進めてまいりますので、皆さま方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任あいさつ

前会長 宮島 俊文



古牧地区住民自治協議会は活動を始めてから10年が過ぎ、助け合い支えあいの住みよいまちづくりを推進する成熟した組織になってきております。

各地区で開催される子育て支援活動、独居高齢者が集えるサロン事業、「ほんわか古牧」の健康体操による高齢者の介護予防事業、西尾張部交差点で毎月早朝に実施する交通安全活動、小学生が参加する世代間交流事業のマレット・グランドゴルフ大会等、多くの事業を行ってまいりました。

その他、住民自治組織が出来る以前から実施している防火・防犯・交通安全ポスター事業は昨年で36回、ふるさと文化芸能祭は34回、そして、ふるさとふれあい教室は30回を数えました。先代からの伝統

を守って、市内の他の住民自治協議会が行っていないような事業を地道に熱心に継続してきました。

先人から受け継いだ活動を継続していくことは、地域のつながりや発展に必要ではありますが、年々役員の選出が難しくなっていく中、負担を軽減するため、事業の簡素化などを図っていく必要も感じています。

最後に私事で恐縮ですが、体調が思わしくなく、ご迷惑をおかけしたこともあるかと思いますが、大勢の方々のお力をお借りして、任期を延長して会長としての大役を務めさせていただくことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今後の古牧地区の更なる発展と住民の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げまして退任のごあいさつとさせていただきます。

平成30年度事業計画

誰もが住みよい元気な古牧のまちづくりを目指そう！目標に
—ふれあい・支えあい・助けあいを基本とします—

I 活動方針

地域の特徴を生かし元気な自治会活動を推進し、各地域との連携を強化します。この活動を持続することにより思いやりとふれあいのある地域づくりを目指します。

II 具体的な展開

安心・安全を支える社会生活基盤の整備、地域防災の充実並びにごみの減量化・資源化を推進します。

- 1 水害対策、生活道路、防災・防火・防犯、交通安全等の社会生活基盤の整備・改善について、行政と一体となって取り組みます。
- 2 予想される大災に備え、24年度の水害、26年度の長野県神城断層地震を教訓に、「自助・共助」による地域防災活動実施に向け、「災害時対応の啓蒙と普及」の訓練・研修ならびに、デジタル無線を活用した地域防災ネットワークシステムの充実に努めます。

また、要支援者支援ツール（救急キット）の更新を関係団体と連携して取り組みます。



- 3 徹底したごみの分別を促進することにより、ゴミの減量化と資源化を推進します。

福祉の関係では、高齢者や要支援者、子どもたちに対する福祉活動の充実を図るとともに、各地域でのより積極的な助け合い・健康づくり・仲間づくりに取り組みます。

- 1 古牧地区地域福祉活動計画に基づく、支え合い・助け合いの各種事業（高齢者・子



育てサロン活動、障がい者等希望の旅、福祉自動車運行、ボランティアセンター運営）を行います。

また、古牧地区では、高齢者の健康を維持するために『ほんわか健康塾“こまき”』に取り組んでいますが、この取り組みを各地域で実施できるよう引き続き環境整備に取り組んでいきます。

- 2 高齢者、要支援者、児童などの生活支援の必要性を把握して、国の介護施策の動向をみながら、サービス提供の担い手を確保し、地域の支えあい助けあいの充実を図ります。

防犯関係では、犯罪防止や交通事故防止、火災予防などの生活安全の活動に取り組みます。

- 1 登下校時の子どもを守る「安全パトロール」、夜間における「防火・防犯パトロール」、「交通安全街頭指導」の生活安全活動に取り組みます。
- 2 交通安全・防火・防犯ポスター作品コンクールなどを通して住民の意識高揚と関連組織との連携強化を図ります。

公民館活動、青少年健全育成、人権尊重、男女共同参画等の積極的な推進を図ります。

- 1 文化芸能祭やスポーツ大会等、顔が見えて仲間づくりができるふれあいなど、地域の皆さまが大勢参加できる機会の充実に努めます。

- 2 家庭・地域・学校・関係機関等が密接な連携を図るとともに、「ふるさとふれあい教室」など三世代の交流により、次代を担う青少年の健全育成に努めます。
- 3 差別のない住みやすい古牧を目指して、人権同和教育・啓発活動を推進します。また、男女共同参画社会の実現に向けた社会環境づくりに努めます。

広報・広聴活動の充実を図ります。

- 1 住民自治協議会の活動を理解し参画していただくため、情報を積極的に提供し「ふらネットこまき」と「ホームページ」の内容充実努めるとともに、各区の通信員を通じて情報を提供するなど広報・広聴活動の充実努めます。



新任役員のみなさん



退任役員のみなさん

Ⅲ 収支予算計画

1 一般会計

収入の部		(単位：千円)
収入総額		36,187
いきいき交付金		20,641
その他補助金・交付金		2,747
各区等の負担金		7,725
使用料		150
雑収入（募金事務等）		701
前年度繰越金		4,223

支出の部		(単位：千円)
支出総額		36,187
事業費（5部会事業）		11,841
事務局費		12,262
交付金・助成金		10,689
印刷機更改積立金		250
予備費		1,145

2 特別会計

福祉移送サービス事業

収入の部		(単位：千円)
収入総額		2,321
補助金（市社協）		510
地区負担金		1,000
雑収入		1
前年度繰越金		810

支出の部		(単位：千円)
支出総額		2,321
車両維持費		1,050
事務費		520
雑費		30
自動車更改積立金		600
予備費		121

ほんわか健康塾こまき事業

収入の部		(単位：千円)
収入総額		838
補助金（29年度精算分）		80
繰入金（一般会計）		570
負担金（参加者タクシー代）		100
雑収入		1
繰越金		87

支出の部		(単位：千円)
支出総額		838
報償費		260
旅費		65
賃借料（タクシー借上）		400
需要費・振込手数料		75
会議費		20
予備費		18

古牧地区住民自治協議会 役員を選任と紹介



会 長
金澤 正義
東和田区



副会長
長田 元行
南長池区



副会長・総務部会長(兼務)・区長
小林 信男
五分一区



福祉部会長
宮澤 明彦
南高田区



安全部会長
青木 敬一
南高田区



教養文化部会長
吉田 正春
西尾張部区



区 長
傳田 隆治
北条区



区 長
雨宮 信夫
中村区



区 長
石井 徹夫
川端区



区 長
花岡 佳市
上高田区



区 長
渡辺 吉昭
南高田区



区 長
長田 久司
南長池区



区 長
林 正信
西尾張部区



区 長
町田 純二
東和田区



区 長
上野 光則
西和田区



区 長
宮下 大介
JR宿舎区



区 長
玉木 秋男
平林区



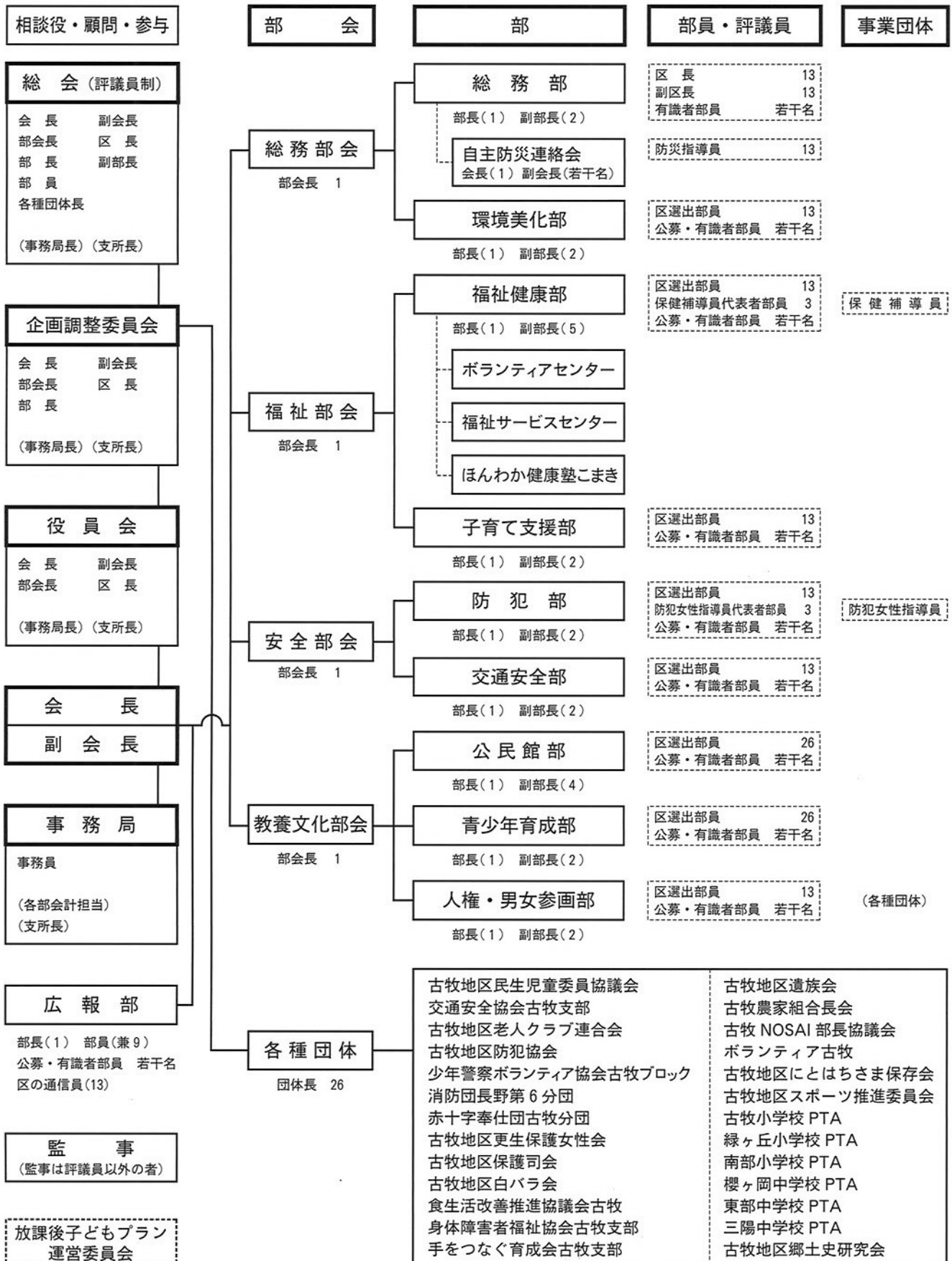
区 長
西澤 征防
荒屋区

事務職員の紹介

職 名	氏 名	問合せ電話
事務局長	柴 芳夫	259-8359
事 務 員	室伏めぐみ	
事 務 員	宮沢 美紀	
ボランティアセンター 福祉ワーカー	中村 末子	244-8159
ボランティアセンター 福祉ワーカー	清水ゆかり	
福祉サービスセンター コーディネーター	轟 明子	244-5522

「会則第7条第3項」(別表)

古牧地区住民自治協議会組織図 (平成30年度)



地域たすけあい事業の協力員さん募集!

古牧地区にお住いの高齢者や障がい者のみなさんが日常生活で困った時に地域のみなさんが家事援助や外出のお手伝いなどを中心に行う事業です。

多くのみなさんにご利用いただいておりますが、この事業を支えていただく協力員さんが不足しております。

ボランティア活動になりますが興味のある方はご連絡ください。



福祉車両「あいりーん号」

● 活動内容は? ●

家事援助、福祉移送（古牧福祉自動車「あいりーん号」の自動車の運転）のどちらか。

● 資格は必要? ●

年齢や経験は問いません。
ただし、福祉移送については一定の条件があります。

● 活動時間は? ●

あなたの可能な日・時間帯で調整します。（月数回程度です。）

● 問い合わせ先は ●

古牧ボランティアセンター
☎244-5522) です。

■協力員さんが活動中にケガをしたり、利用会員にケガを負わせた場合に備えて賠償責任及び傷害保険に加入しています。

あなたのご参加をお待ちしております!

5月から6月までの主な行事実施日のお知らせ (多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	場所	実施内容	主催
あいさつ運動	5月	各区	各区実施	青少年育成部
春のごみゼロ運動・アメシロ防除活動	5月1日～9月30日	各区全域	道路側溝、河川、公園掃除等公共施設等の樹木の消毒等	環境美化部
地域と学校で子どもを守る連絡会	5月22日	古牧公民館	各区・各学校の取組み連絡会	防犯部
地域福祉大会	5月31日	古牧公民館	福祉講演会等	ボランティアセンター 244-8159
三世代交流グラウンド・ゴルフ	6月9日	古牧小学校校庭	世代交流事業	福祉健康部



古牧地区の世帯数と人口

30年4月1日現在

11,278 世帯

26,639 人

(男 13,107人 女 13,532人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 金澤 正義

■編集 ぷらネットこまき編集委員会

■印刷 ㈱小池印刷